

農産経営Ⅱ

講師名	永富 巨人	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、農産分野の経営者としての管理及び省力化による営農改善能力を養うための講義を担当する。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・農産	必修	2	後期	15	1
使用教科書・副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関のための農業ビジネスの基本と取引のポイント第2版 (有限責任監査法人トーマツ) ・自作プリント 					
授業の目的	農産分野の経営者としての管理及び省力化による経営改善能力を養う。					
授業の目的・到達目標	農業分野の基本的な経営管理手法を理解し、省力化による経営改善方法を理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
9月30日	農業ビジネスの会計と税務①	農業会計や貸借対照表について学習する。	2	講義 演習	
11月5日	農業ビジネスの会計と税務②	<ul style="list-style-type: none"> ・損益計算書について学習する。 ・農業税制の概要について理解する。 	2	講義 演習	
12月3日	経営計画の試算①	卒業研究テーマで取り上げた技術について経営評価する。	2	講義 演習	
12月21日	経営計画の試算②	卒業研究テーマで取り上げた技術について経営評価する。	2	講義 演習	
1月7日	省力低コスト①	農産分野の省力と低コストの考え方とその手法について学習する。	4	講義 演習	
1月12日	省力低コスト②	農産分野の省力と低コストの考え方とその手法について学習する。	2	講義 演習	
1月21日	省力低コスト③	農産分野の省力と低コストの考え方とその手法について学習する。	2	講義 演習	
合計			16	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

レポート60%、平常点40%(出席状況、学習態度、提出物)

履修に当たっての留意点等

主に自作プリント及び板書により行い、実際に電卓等を用いた実践的な演習も行う。
配付資料に目を通し、事前学習及び復習を行うこと。
提出物については授業で指示する。